

【意見交換】<昼の部・夜の部併せて掲載しております。>

Q 災害時、すぐに発電機の対応が出来る仕組みになっていますか？

A 発電機の起動までの時間は40秒程度となっております。発電機は、3日間・72時間対応可能となっています。

Q 災害対策本部の情報収集はどのように行いますか？

A 他市町村の例では、街中にあるテレビカメラ等の映像をリアルタイムで流れるなどの仕様例があります。美幌町では、現在でも災害時において、職員がタブレットを現場に持ち込み撮影した映像をリアルタイムで本部へ配信する仕組みになってありますので、それをスクリーンに流したいと考えてあります。

Q 情報発信のイメージは？

A 現在は、アナログなホワイトボードで、時間ごとに河川の水位や被災情報などを記載していますが、新庁舎では、パソコンにより記録した情報をモニターに映し、発信していきたいと考えてあります。モニターが大きければ大きいほど費用がかかるので、今後詳細について検討してまいります。

Q 現庁舎のランニングコスト（電気料金）は？

A 現庁舎は電気暖房を使用しておりまして、電気料金だけで年間約1,400万円、別館につきましては規模が小さいので数十万で、併せて1,500～1,600万円程度になります。

Q しゃきっとプラザに停まるワンコインバスから降り、庁舎へ行く動線について、雨に当たらないなどの配慮が必要だと思います。来庁者が自宅からワンコインバスに乗り庁舎に来る動線をイメージして考えてください。場合によっては、バス停の場所をどこにするのかも検討すべきだと思います。

A ワンコインバス停留所の場所も含めて検討してまいります。

Q 新庁舎の外観や駐車場のイメージが、大型複合商業施設のように感じます。出来るだけ緑を残して欲しいと思います。

A 緑につきましては、緑を保存する考え方を持つ「美幌町緑の基本計画」に基づいて、庁舎敷地内に配置することとなります。

Q 年に何度も来ない来庁者よりも、そこにずっといる職員にとって仕事がしやすいような施設にするべきだと思います。

A ご意見としてお受けいたしました。

- Q 予算の関係もあるのでしょうかけれど、新庁舎の内装に美幌町特有のカラ松材を使用し、木の匂いがするような庁舎を検討してください。
- A 庁舎は、耐火構造なので木が使える部分の制約があります。今考えてありますのは、例えば、議会議事堂です。全面になるかわかりませんが、美幌町産材あるいは道産材を極力活用出来ればいいと思ってあります。ただし、コストもかかるので、可能な限りとさせていただきますので、予めご了承ください。
- Q 一般駐車場 87 台の中には、公用車駐車場も含まれていますか？また、駐車場 1 台あたりのスペースはどの程度ですか？
- A 87 台は一般駐車場で、公用車駐車場は含まれてありません。しゃきっとプラザの駐車場と同じ 2.5 メートル × 5 メートルとなります。
- Q 庁舎建設中の仮駐車場は用意しますか？どこかに臨時駐車場を設けないと、来庁者が近くの道路などに停めてしまうのではないかでしょうか。
- A 検討中ですが、現庁舎の中庭の一部を建設中の臨時駐車場に考えておりますが、停められる台数は 20 台程度になろうかと思います。工事期間中は駐車場が狭くなるので、現在の職員駐車場の利用を含めて、皆様にご迷惑を掛けないよう駐車場確保を図っていきたいと思います。
- Q 3 階にギャラリーがありますが、ギャラリーは一般の方が使うところなので、1 階にある方が良いのではないですか？
- A 景色を楽しむ観点から 3 階に設置することとしておりますが、他方で需要があるのかというご意見があることも承知しております。
- Q 美幌町の建物ですので、建設にあたっては、下請け業者も含め、地元の業者を優先して頂きたいと思いますが、町としてはどのように考えてありますか？
- A 今までどおり、他の施設と同様、新庁舎についても地元企業優先で進めたいと思います。
- Q 経済部が移転した後の別館など、使わなくなった公共施設を放置するのはやめて欲しいです。
- A 使わなくなった公共施設につきまして、平成 31 年度に解体計画を策定する予定となっております。しゃきっとプラザの 2 階などには、現に古い公共施設を使用している団体等に移転いただき、使わなくなった施設については順次解体することとなります。

Q 太陽光パネルについて、埋め込み型より屋上などに設置した方が、費用が安いのではないかと思っておりましたが、説明の中で設置が難しいというお話もありました。私は、何かあったときの対応も出来ますし、設置した方が良いと思います。

A 試算しましたところ、太陽光パネルを設置する費用は1千万円以上で、1年間に電気料が削減出来る金額は10万円程度です。回収するのに100年かかる計算となります。その間、太陽光パネルは20年程度で寿命となり更新が必要となり、また、制御する装置も10年間で更新する必要があります。費用対効果の面で言えば、設置は難しいと判断しているところです。

Q 自家発電機の72時間の根拠は？オイルタンクを増やせばもっと時間が延びるという話なのでしょうか。

A 災害における考え方の「人命救助に72時間以上かかると危険度が増してしまう」というのが、一つの目安です。また、72時間あれば、電気関連が大体復旧してくるのではないかということもひとつの目安としています。燃料タンクを増やせば時間を延ばすことになるかと思いますが、タンクの容量を増やすとそれだけ設備費がかかることがあります。

Q 福利厚生室が職員の休憩室になるのでしょうか。

A 従業員が50名以上いる職場につきましては、法律上男女別にベッドか布団を置く休憩施設を用意することとなっております。地階にあるロッカー室に、男女別でベッドを設けるようになっていますので、職員が具合悪くなった場合、ここで休むように考えています。